

平成18年3月期  
中間決算説明会資料

2005年11月15日

株式会社アドバンス・メディア

# アジェンダ

決算概要	P.3
上期事業状況	P.15
当社の事業概要について	P.35
音声認識技術、ビジネスのこれから	P.42

# 決算概要

## 業績概況

(単位:百万円)

	実績	上場時業績予想	差異額 (増減率)
	金額 (百分比)	金額 (百分比)	
売上高	914 (100.0%)	759 (100.0%)	155 (20.4%)
経常利益	48 (5.3%)	14 (1.8%)	34 (242.9%)
当期純利益	47 (5.1%)	13 (1.7%)	34 (261.5%)

10月31日修正後業績予想は、売上高900百万円、経常利益45百万円、当期純利益44百万円。

●ライセンス事業において、ビジネス分野でのアプリケーション販売が好調のため、売上高、経常利益、中間純利益いずれも上回った。

## 中間業績前年同期比較

(単位:百万円)

	当期上期(18/3月期)	前期上期(17/3月期)	前年対比増減
	金額 (百分比)	金額 (百分比)	金額 (増減率)
売上高	914 (100.0%)	509 (100.0%)	405 (79.6%)
営業利益	48 (5.3%)	126 (24.8%)	174 NA
経常利益	48 (5.3%)	125 (24.6%)	173 NA
当期純利益	47 (5.1%)	124 (24.4%)	171 NA
(セグメント別売上高)			
ソリューションサポート	342 (37.4%)	370 (72.7%)	28 (7.6%)
ライセンス	568 (62.1%)	137 (26.9%)	431 (314.6%)
サービス	3 (0.3%)	1 (0.2%)	2 (200.0%)

●ソリューションサポート事業は、ユーザーニーズに応える音声認識ソリューションのコンサルテーション・開発が堅調。特に、自動受付装置の AmiReception、内線 / 外線自動接続システムの AmiVoice Dialer、業務報告書作成支援の AmiVoice Reporter などを擁するビジネス分野、コンピュータ・テレフォニー・インテグレーション(CTI)分野及び議事録分野において、既存パッケージ製品活用のための受託開発需要があった。

●ライセンス事業は、医療分野の電子カルテ音声認識アプリケーションやエンターテインメント&エデュケーション(E&E)アプリケーションの販売が堅調であり、コンピュータ・テレフォニー・インテグレーション(CTI)分野の売上が好調。AmiReception、AmiVoice Dialer、AmiVoice Reporterも販売増大始めた。

●サービス事業は、電話応答ASPによる住所変更受付等の一般消費者向けサービスが始まりつつある。

## 事業別売上高

(単位:百万円)

	17/3月上旬	17/3月下旬	18/3月上旬
	金額 (百分比)	金額 (百分比)	金額 (百分比)
売上高	509 (100.0%)	989 (100.0%)	914 (100.0%)
(セグメント別売上高)			
ソリューションサポート	370 (72.7%)	349 (35.3%)	342 (37.4%)
ライセンス	137 (26.9%)	638 (64.5%)	568 (62.1%)
サービス	1 (0.2%)	1 (0.1%)	3 (0.3%)

## ご参考 通期実績

(単位:百万円)

	16/3	17/3
	金額	金額
売上高	887	1,498
(セグメント別売上高)		
ソリューションサポート	659	719
ライセンス	226	776
サービス	1	2

## 経常利益

(単位:百万円)

	17/3月上旬	17/3月下旬	18/3月上旬
	金額 (売上比)	金額 (売上比)	金額 (売上比)
経常利益	125 (24.6%)	195 (19.7%)	48 (5.3%)

## ご参考 通期実績

(単位:百万円)

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
	金額	金額	金額	金額	金額
経常利益	544	592	26	70	499
経常利益率	176.8%	131.1%	2.9%	4.6%	20.0%

18/3は業績予想

## B / Sの概況

(単位:百万円)				
科 目	H18/9中間期	H17/3期	増減	主 な 増 減 理 由
<b>流 動 資 産</b>	<b>4,401</b>	<b>2,834</b>	<b>1,567</b>	
現金及び預金	3,553	1,073	2,480	新株式発行
受取手形、売掛金	760	774	14	
たな卸資産	56	36	20	
その他流動資産	19	34	15	
貸倒引当金	10	10	0	
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,126</b>	<b>925</b>	<b>201</b>	
有形固定資産	59	54	5	
無形固定資産	630	565	65	ソフトウェア増
投資その他の資産	436	305	131	関係会社株式増
<b>資 産 合 計</b>	<b>5,507</b>	<b>2,834</b>	<b>2,673</b>	
科 目	H18/9中間期	H17/3期	増減	主 な 増 減 理 由
<b>流 動 負 債</b>	<b>706</b>	<b>766</b>	<b>60</b>	
買掛金	115	173	58	
短期借入金	450	450	0	
未払金	62	48	14	
その他流動負債	79	95	16	
<b>固 定 負 債</b>	<b>-</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	
<b>資 本 の 部</b>	<b>4,800</b>	<b>2,053</b>	<b>2,747</b>	資本金、資本準備金増
<b>負 債 ・ 資 本 等 合 計</b>	<b>5,507</b>	<b>2,834</b>	<b>2,673</b>	



## その他

### ●減価償却費

有形 7百万円 (前期 3百万円)

無形 90百万円 (前期 55百万円)

### ●従業員数(平成17年9月末現在)

・単体 73名(ほか、アルバイト平均22名) (前期 51名、アルバイト平均13名)

## 上期の特記事項

### ●MC2社買収について

- ・当社既存製品の営業のボリューム拡大、営業力の強化。
- ・当社CTI製品の検証・実証を行い、当社製品の製品力の強化および開発の支援。
- ・当社のサービス事業基盤の構築、拡大のための支援。

(テレマーケティングサービスの経験ノウハウは今後の当社の事業に活用)

### ●MTI社について

- ・MTI社はAmiVoiceエンジンの開発パートナー。
  - ・役員を当社から2名派遣(全役員は5名)、両社は開発パートナーという関係。
- (AmiVoiceエンジンの辞書・言語モデル、グラマーは当社、音響分析・認識デコーダはMTI社が主に開発)

### ●ボイスドメインサービス社について

- ・当社のサービスビジネスにおける戦略会社。
- ・DSRの特長を優位に利用するサービスビジネス展開における先駆的な役割。
- ・戦略パートナーに対して第三者割当増資を行うものの、今後も当社の子会社の位置づけ。
- ・海外展開。(中国、韓国、米国、欧州)

## MC2社について

- 会社名 エムシーツー株式会社
- 代表者(役職・氏名) 代表取締役 河野 正
- 所在地 東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおい損保新宿ビル2F
- 設立年月 平成12年9月7日
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 約200名(アルバイト込、平成17年7月4日現在)
- 株 主 株式会社アドバンスト・メディア 70%  
河野 正 30% (平成17年10月25日現在)  
平成17年11月29日付株式交換により、  
株式会社アドバンスト・メディア100%子会社になる予定。
- 事業内容 テレマーケティング他

## MC2社について

事業カテゴリー	内容	構成比
通信回線販売事業	<ul style="list-style-type: none"><li>● アウトバウンド(インバウンド)コールによる大手通信事業者の回線販売</li><li>● 直接訪問によるマンション・アパートオーナー向け光ファイバー回線販売</li></ul>	80%
オフィス用品販売事業	<ul style="list-style-type: none"><li>● コクヨ「カウネット」によるオフィス文具・証文品のカタログ販売</li><li>● インターネット利用によるオフィス用品・消耗品販売</li><li>● 各種オフィス消耗品の販売</li></ul>	20%

## MC2社について

### ●当社とのシナジーは

- ・機動的な営業力の強化、営業ボリュームの拡大。
- ・当社CTI製品の製品力の強化および開発力の強化。
- ・当社のサービス事業基盤の構築、拡大への寄与。

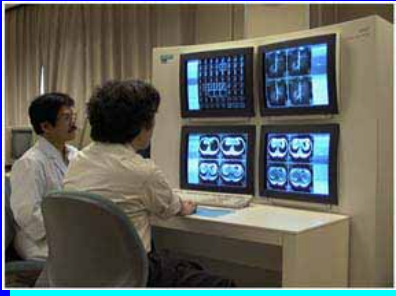
## 平成18年3月期業績予想

(単位:百万円)		
	単体	連結
	金額	金額
売上高	2,400	3,000
経常利益	499	300
当期純利益	497	250

- 連結対象会社は、MC2社、ボイスドメインサービス社、マルチモーダルテクノロジー社(米国、持分法適用)。
- 連結の利益減はMC2を除く対象会社の赤字と連結調整勘定のため。

# 上期事業狀況

# 事業分野紹介



## ●医療

放射線 / 病理画像レポート、  
電子カルテ (大病院、診療所、  
歯科クリニック)、調剤・薬剤  
**AmiVoice EX**

## ●ゲーム/エンタテインメント/教育



PS2, ロボット,  
教育ゲーム  
**AmiVoice CALL**



## ●ビジネスソリューション

- ・ **AmiVoice Reporter,**  
**AmiVoice Dialer,**  
**AmiReception**
- ・ 音声対話I/F  
業務アプリ



## ●政府/公共

- ・ 議会議事録、裁判録  
**AmiVoice Rewriter**
- ・ 音声対応HP、  
・ バリアフリー  
人が公共施設や家庭で  
「簡単に」「便利に」必要な  
公けの情報を入手できる  
インフラ

## ●CTI

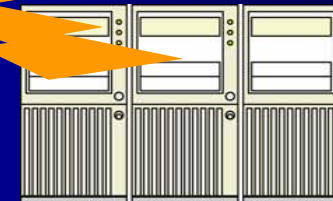
次世代コールセンターソリューション

- ・ **CallScriber, AmiVoice Assist,**  
**AmiVoice Interactive Responder**



## ●モバイル

携帯DSRによるモバイルサービス  
(いつでも、どこでも、だれでもが  
「便利」「役に立つ」「ありがたい」)





## 上期のトピックス

1. 「*AmiVoice® Ex Clinic* 3ライセンスバリューパック」リリース。(5月)
2. 携帯電話向け分散型高精度音声認識システムを搭載した。  
*AmiVoice® Reporter for Smart Phone*を世界で初めて企画・開発。(5月)
3. アルゴブレインと高齢者・障害者対応グループウェア「Light Office」をリリース。(6月)
4. 携帯電話向けコンテンツ特化型分散高精度音声認識システム  
*AmiVoice® DSR for Mobile Contents*のサービスを開始。(7月)
5. 子会社 (株)ボイスドメインサービス 設立。(7月)
6. 日本調剤、調剤薬局向け音声入力ソフトを増設導入。(9月)  
～ 既存導入店舗において業界最高認識率・高操作性という評価を受け、追加導入決定～
7. 業界最高認識率の電子カルテ向け音声入力ソフト*AmiVoice® Ex Clinic*  
大幅値下げと販売チャネル拡大で販促実施。(9月)

## 上期の事業分野ごとの実績

### ●医療

- ・調剤薬局に本格導入。(9月末で589調剤薬局)
- ・電子カルテ向け音声認識ソフトなど診療所・病院向け。  
(9月末で539施設)
- ・電子カルテ向け音声認識ソフトなど医療向けパッケージが9月初旬に累計1000拠点に導入突破。
- ・ **AmiVoice® Ex**を大幅値下げで大幅拡販へ。

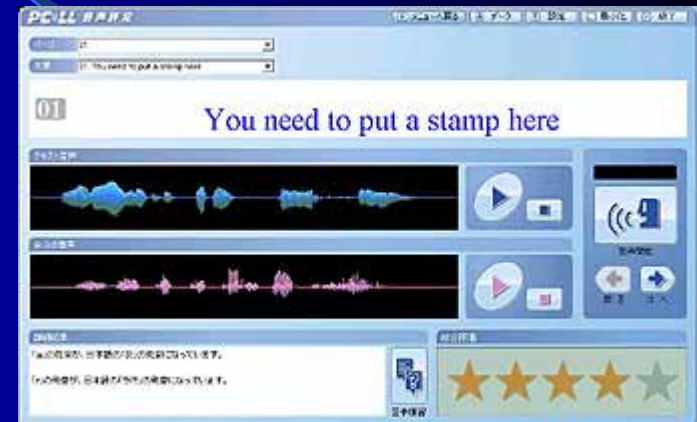


# 上期の事業分野ごとの実績

## ●ゲーム/エンタテインメント/教育

- ・英語発音評価システムの販売好調。(内田洋行)
- ・下期に向けての英語教育ソフトの開発・プロモーション順調。

AmiVoice CALL  
-pronunciation-

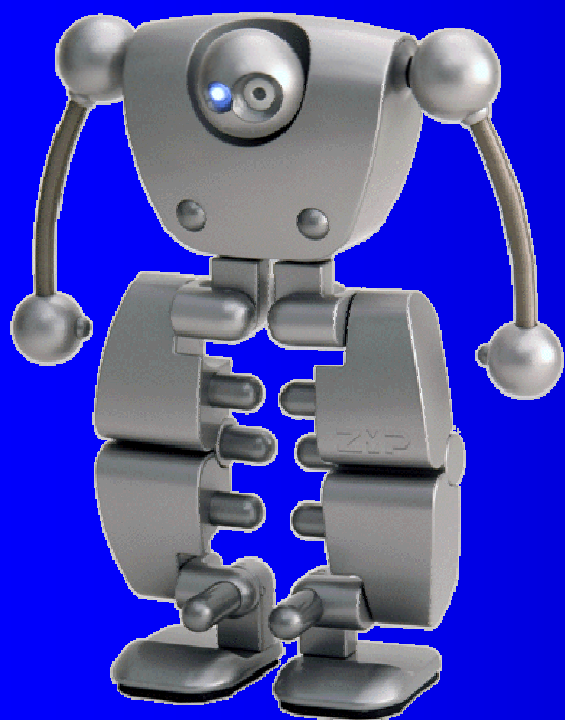


) [http://www.e-okaimono.com/idea/sh\\_ons.html](http://www.e-okaimono.com/idea/sh_ons.html)

## 上期の事業分野ごとの実績

### ●ゲーム/エンタテインメント/教育

- ・アクトロイドは万博終了後、各施設へ貸し出し、来年4月以降に販売予定。  
(アクトロイド用音声インターフェースの提供、カスタマイズ事業)



(株)ZMP Nuvo



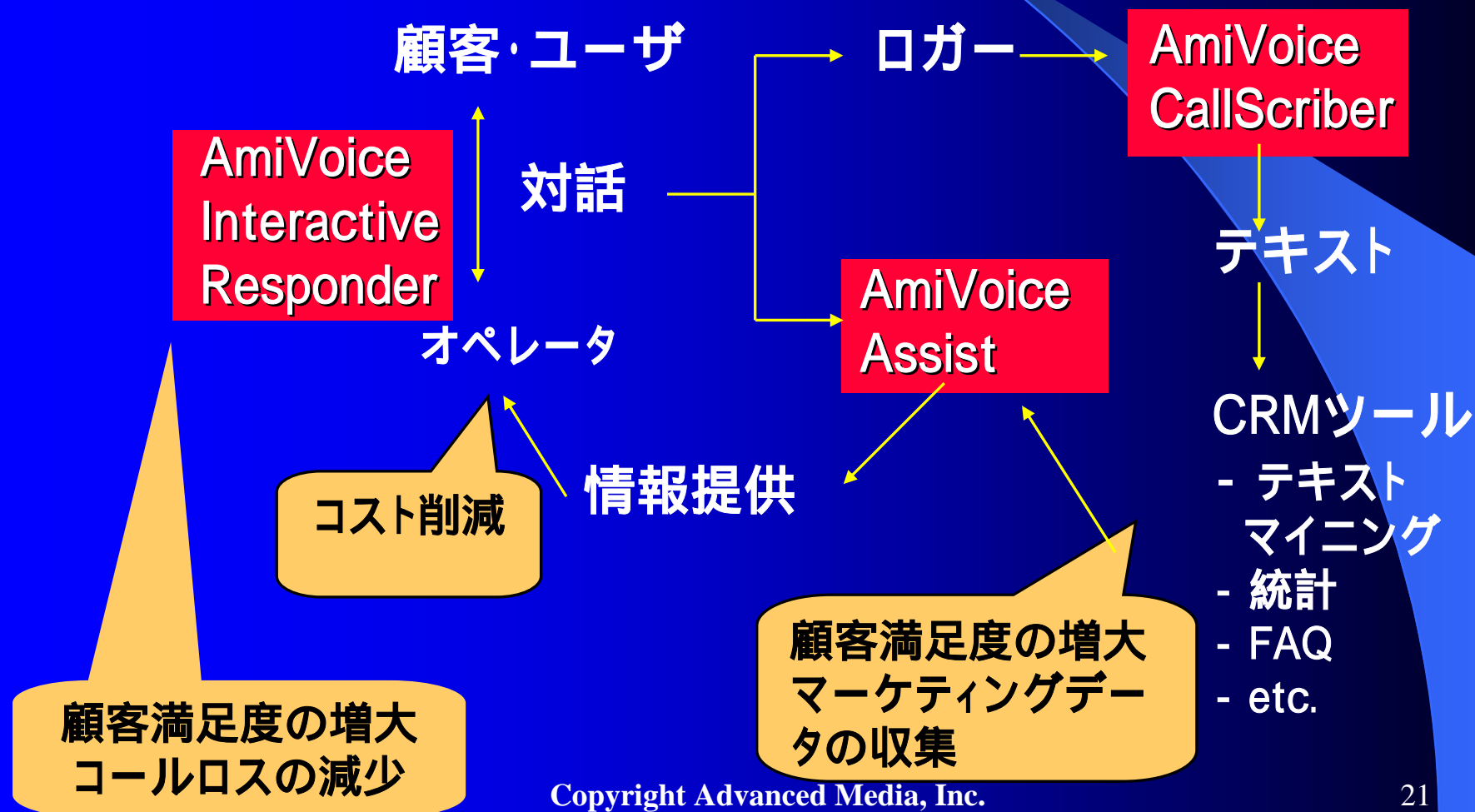
### 愛知万博受付案内ロボット[4カ国対応]

©NEDO ROBOT PROJECT

※新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託事業である音声認識エンジンを搭載した接客ロボットアクトロイド®(株式会社ココロとの共同開発)

## 上期の事業分野ごとの実績

- CTI(コンピュータ・テレフォニー・インテグレーション)
  - ・薬品卸、金融・証券系に導入。
  - ・運用に向けてコンサルテーション、システムインテグレーションを実施中。
  - ・MC2との協業。(製品力の強化にむけて)



## 上期の事業分野ごとの実績

### ●政府・公共(議事録ビジネス)

#### ・自治体向け議事録作成支援システム

##### 国 機 関

2月より試験稼働中、他機関へも順次導入予定

##### 地方自治体

北海道議会(6月運用開始)

静岡県 沼津市議会、

伊豆市議会など稼働中

埼玉県戸田市議会など稼働

その他各市議会

##### 全 国 組 織

名古屋大学法科大学院模擬裁判

#### ・民間企業向け議事録作成支援システム

##### 一般会議議事録作成支援

商社、銀行、証券、IT関連企業などに対し、  
開発、試験運用開始 山口銀行

##### テレビキャプション

大手メーカーと連携し、各放送局・制作会社  
へオファー中

##### 大学講義字幕&e-ラーニング

IBEと連携 名古屋大学

##### 放送局アーカイブシステムへ組込

民放各局

##### その他

##### 通信キャリア

『テレビ会議字幕システム(試験開発)』

##### 通信キャリア

『携帯メール作成システム(実証実験)』

## 上期の事業分野ごとの実績

### ●ビジネスソリューション

・各社に順調に導入中

#### AmiReception

受付業務の効率化をする音声自動応答装置。  
上期に62台販売。

#### AmiVoice Dialer

内線/外線呼び出しで、電話番号を調べる手間をなくす。

#### AmiVoice Reporter

営業報告データ、顧客とのやり取りの内容を音声・文字保存。  
外勤営業社員等の外部からの業務報告書作成支援。



## 上期の事業分野ごとの実績

### ●モバイルサービス

#### ・フロント・サービス事業化に向け、各種ソフトウェアの開発、プロモーション

- 携帯電話向け分散型高精度音声認識システムを搭載した  
**AmiVoice® Reporter for Smart Phone**を世界で初めて企画・開発。
- 携帯電話向けコンテンツ特化型分散高精度音声認識システム  
**AmiVoice® DSR for Mobile Contents**のサービスを開始。
- ワイヤレスジャパン2005に出展(7月13日～7月15日、東京ビッグサイト)  
当社技術を携帯電話コンテンツプロバイダー、システムインテグレーターに紹介し  
実用という評価を戴く。
- PDA・モバイルソリューションフェア2005に出展(9月2日、東京国際フォーラム)  
NTTドコモ、ビジネスFOMA(M1000)用の**AmiVoice® DSR for FOMA M1000**  
を紹介し高い評価を戴く。

#### ・下期のボイスドメインサービス開始に向けてのプロモーション

- 7月27日に子会社(株)ボイスドメインサービスを設立・事業モデルを発表。
- 第1回目、第三者割当増資。(9月末)



## VDS(ボイスドメインサービス)事業について

### ●サービス内容について

- ・VDS(ボイスドメインサービス)事業のベース

VD登録・運営事業

<VDとは>

携帯電話にむけての新たな広告モデル。

ユーザに単語をしゃべらせその単語に関連した  
企業の広告用URLへ誘導。

単語の登録・年間維持費を企業から徴収、エンドユーザは無料。

- ・上記のVDSを利用したサービスも含む

VD応用サービス

海外展開

その他

## VDS(ボイスドメインサービス)事業について

- 従来の入力ツールと比較して

- ・キー入力との比較

キー押下回数が圧倒的に少ない。  
意味を有するため記憶が容易。

- ・2次元バーコードとの比較

カメラは不要。  
表示場所の制約なし。  
操作が容易。

- ・広告効果

ユーザの声が逆に広告になる。キャンペーン利用に最適。  
ある一つの「読み」で、複数のドメインへ誘導可能。

(例)「トヨタ」 「トヨタ.jp、レクサス.jp、カローラ.jp・・・」

# VDS(ボイスドメインサービス)事業について

## ●利用方法について

### ・携帯電話で、声によるURL入力を行うサービス

ユーザが携帯電話に向かって発声した音声をサーバでテキスト化し、同一もしくは似ている読みのURLを一覧で端末に表示、該当するURLをボタン押下すればそのURLへ飛ぶ。

### 対応端末 Vodafone 702NK、NTTドコモM1000など

(既存の携帯電話にも対応しており(パケットでのアクセスではなく、当社のサーバに電話をかけて通話内容をサーバ側で音声認識させる)、ユーザはインターネットに対応している携帯電話端末(i-mode、EzWeb、ボーダフォンライブ対応が条件)を使ってソフトウェアをダウンロードすれば利用できます。

生茶



ボイスドメイン  
対応フルブラウザ

特徴量(圧縮音声)



候補URL一覧表示ページ

生茶.jp  
浜茶.jp  
はまちゃん.jp



ボイスドメインサーバ

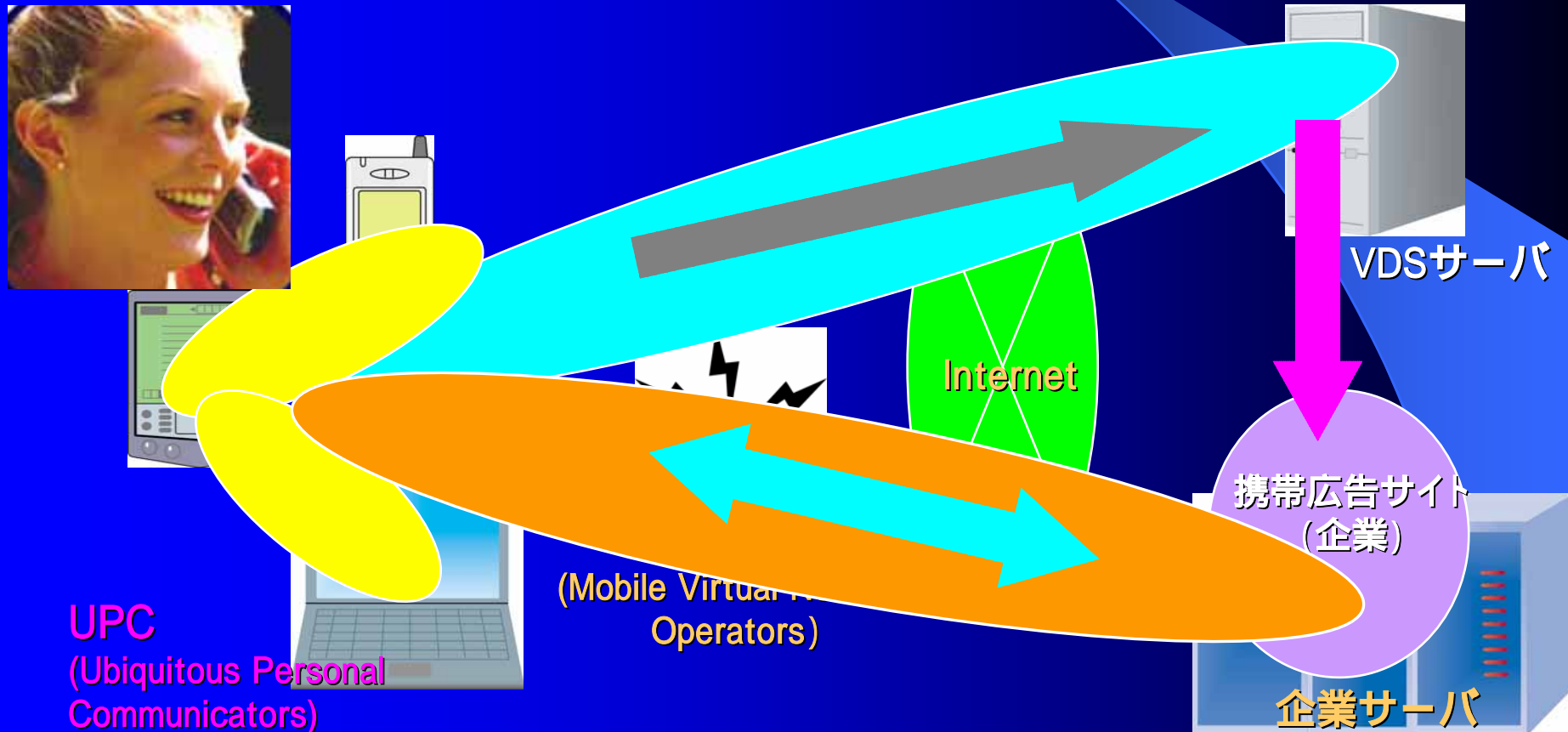
# VDS(ボイスドメインサービス)事業について

## ●システム構成について

### ・シンクライアント

携帯電話側は極小のソフトあるいはチップ搭載。

一方、サーバ側は認識デコーダ、単語辞書、グラマー、リンクテーブル等で構成。



## VDS(ボイスドメインサービス)事業について

### ●ドメイン登録サービス詳細

- ・VDの登録・維持料は初年度40,000円、次年度以降20,000円(全て外税)  
初期登録料: 20,000円、維持料: 20,000円/年
- ・サービス開始より1.5月間は、有名企業のキーワードなどを無償にてVD対応(サービス)
- ・有償への切り替え後は、登録されたVDのみで運用。  
VD非登録のものはカテゴリー表示からのリンクとなり、音声認識は可能であるが冗長な動作となる。
- ・アドバンスド・メディアにサービス実施(サーバ運用)を委託。
- ・他のブラウザベンダー、音声認識ベンダーとの協業/委託も可能。
- ・販促キャンペーンの一環として、音声対応関連アプリを当面の間、無償配布の予定。

## VDS(ボイストメインサービス)事業について

### ●スケジュール

- ・2005年11月28日より サービス開始。
- ・2006年1月15日より登録受付開始。  
企業(広告主)による企業名・商品名・サービス名の登録を開始
- ・2006年3月より正式サービス開始。

## VDS(ボイスドメインサービス)事業について

### ●今後のサービス数値目標

#### ・目標ボイスドメイン登録数

2006年3月 4,000 ワード

2007年3月 13,000 ワード

#### ・目標売上高

2006年3月期 50百万円

2007年3月期 234百万円

#### ・ボイスドメインサービス対応端末数(予定)

2006年3月期 20万台

2007年3月期 50万台

2008年3月期 300万台

# VDS (ボイスドメインサービス) 事業について

## ●資本政策について

・会社設立時(2005年7月27日)

(株)アドバンスト・メディアの100%子会社

発行株式数10,000株 資本金 30,000千円

・第1回第三者割当増資終了後(2005年10月18日払い込み終了時)

資本金 94,500千円

株主名	株数	比率
株式会社アドバンスト・メディア	20,000	63.49%
JWord株式会社	3,000	9.52%
株式会社インターネット総合研究所	2,500	7.94%
株式会社見果てぬ夢	2,000	6.35%
SUNMALO株式会社	2,000	6.35%
株式会社ぱど	2,000	6.35%
合計	31,500	100.00%

・2005年12月以降も第三者割当を予定



## 下期の重点施策

### ●開発およびソリューション提供体制の強化

- ・システムエンジニアリングサービス強化のため、システムインテグレーション力を強化。
- ・音声認識ソリューションの商品力強化のためシステムインテグレーション会社と連携。

### ●営業力の強化

- ・営業力強化のため買収したMC2との協業により、営業力と営業ボリュームを格段に増大。
- ・医療向け製品・ビジネスソリューションなどパッケージ製品を多くの潜在ユーザーに認知させ、積極的に販売。

### ●サービス事業の立ち上げ

- ・ボイスドメイン事業の立ち上げ。
- ・携帯電話をターゲットする月額使用料、あるいは定額使用料課金のサービス事業の複数立ち上げ。

参考資料  
当社の事業概要について

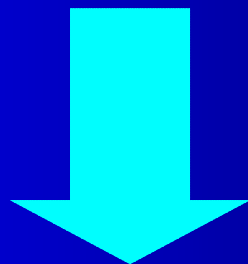
## 会社概要

- **会社名** 株式会社アドバンスト・メディア
- **設立** 1997年12月
- **資本金** 32億1,847万円
- **所在地** 〒170-6048  
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 48F
- **電話** 03-5958-1031(代表)
- **業務提携先** Multimodal Technologies, Inc.(米国)
- **子会社** (株)MC2、(株)ボイスドメインサービス
- **事業内容**
  - ・アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューションサポート事業」
  - ・「ソリューションサポート事業」で掘り起こされた市場のニーズに適合するパッケージ商品をライセンスとして提供する「ライセンス事業」
  - ・当社自身がアミボイスを使い、企業内のユーザや一般消費者へサービス提供を行う「サービス事業」
- **代表者** 代表取締役 鈴木 清幸
- **主要株主** 鈴木 清幸、トヨタ自動車、富士通など
- **詳細は**<http://www.advanced-media.co.jp/> **をご参照ください。**

## 事業目的

「しゃべりがみえる」ことによる  
新たな価値の創造を提案・実現  
“いつでも、どこでも、だれでも”が  
「しゃべりがみえる」に特化

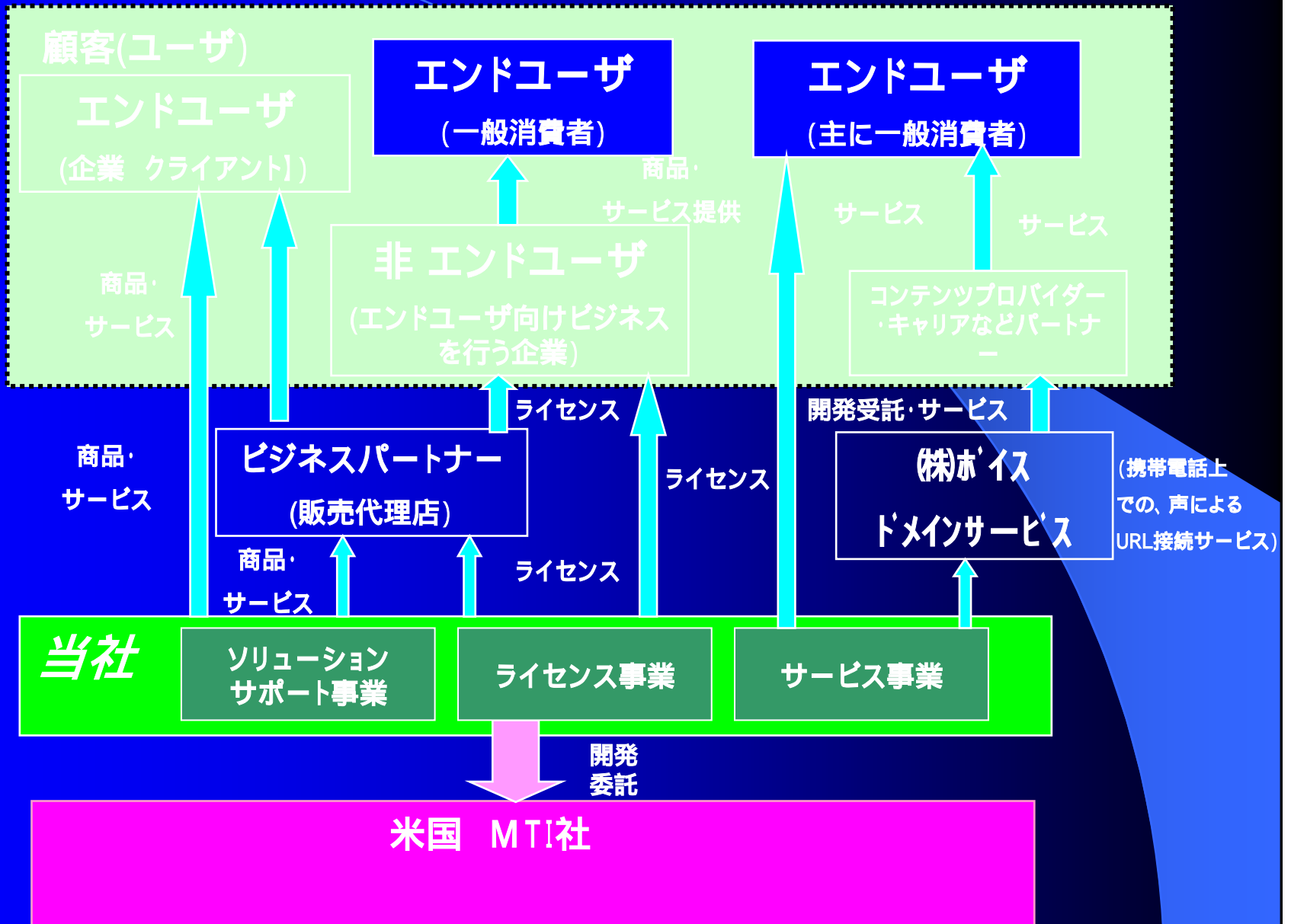
「便利さ」「有難さ」  
を享受できる仕組み  
を提供



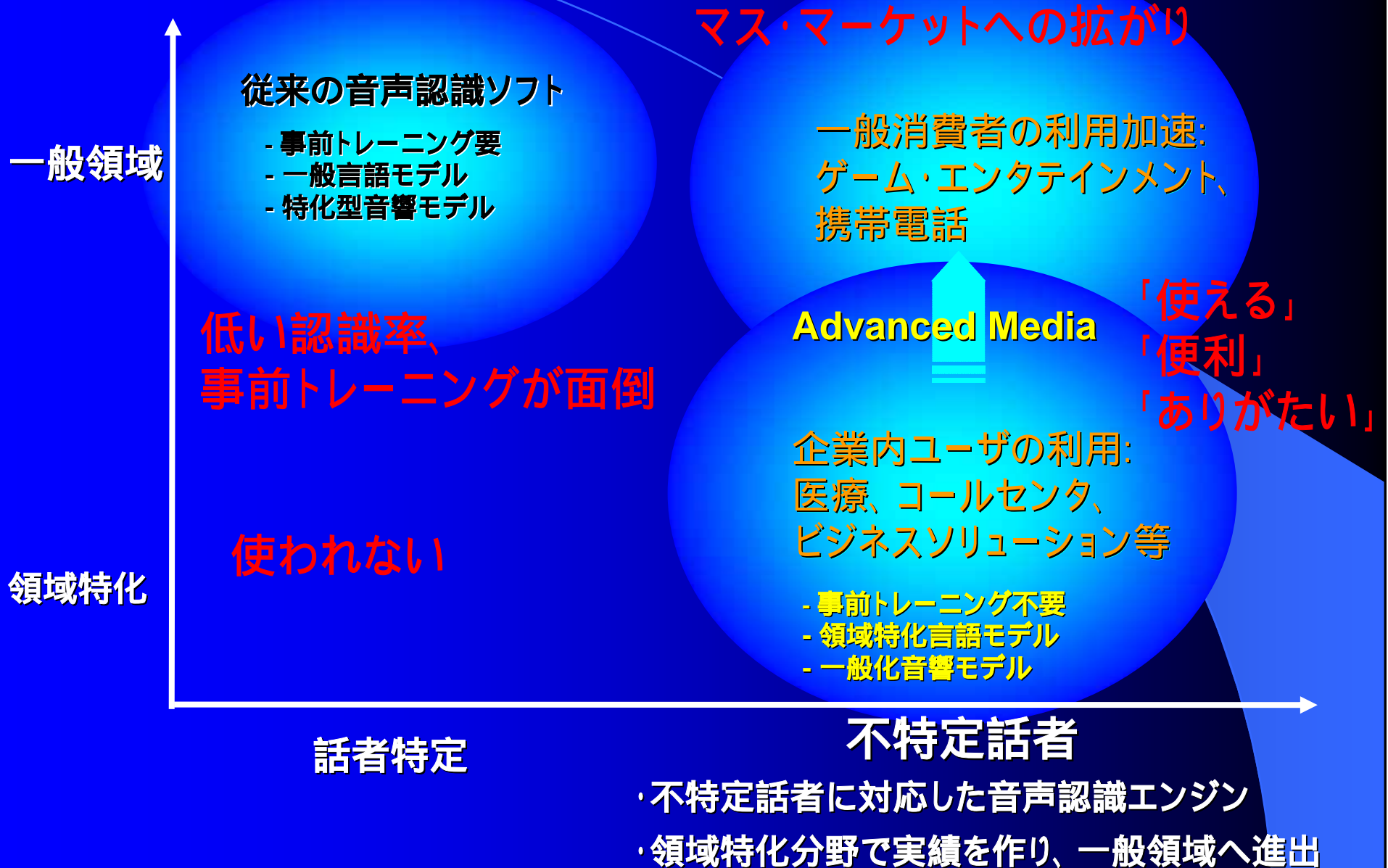
音声認識エンジン  
*AmiVoice*

実用的に、ビジネスや日々の生活に密着した  
多種多様なサービスへと活用

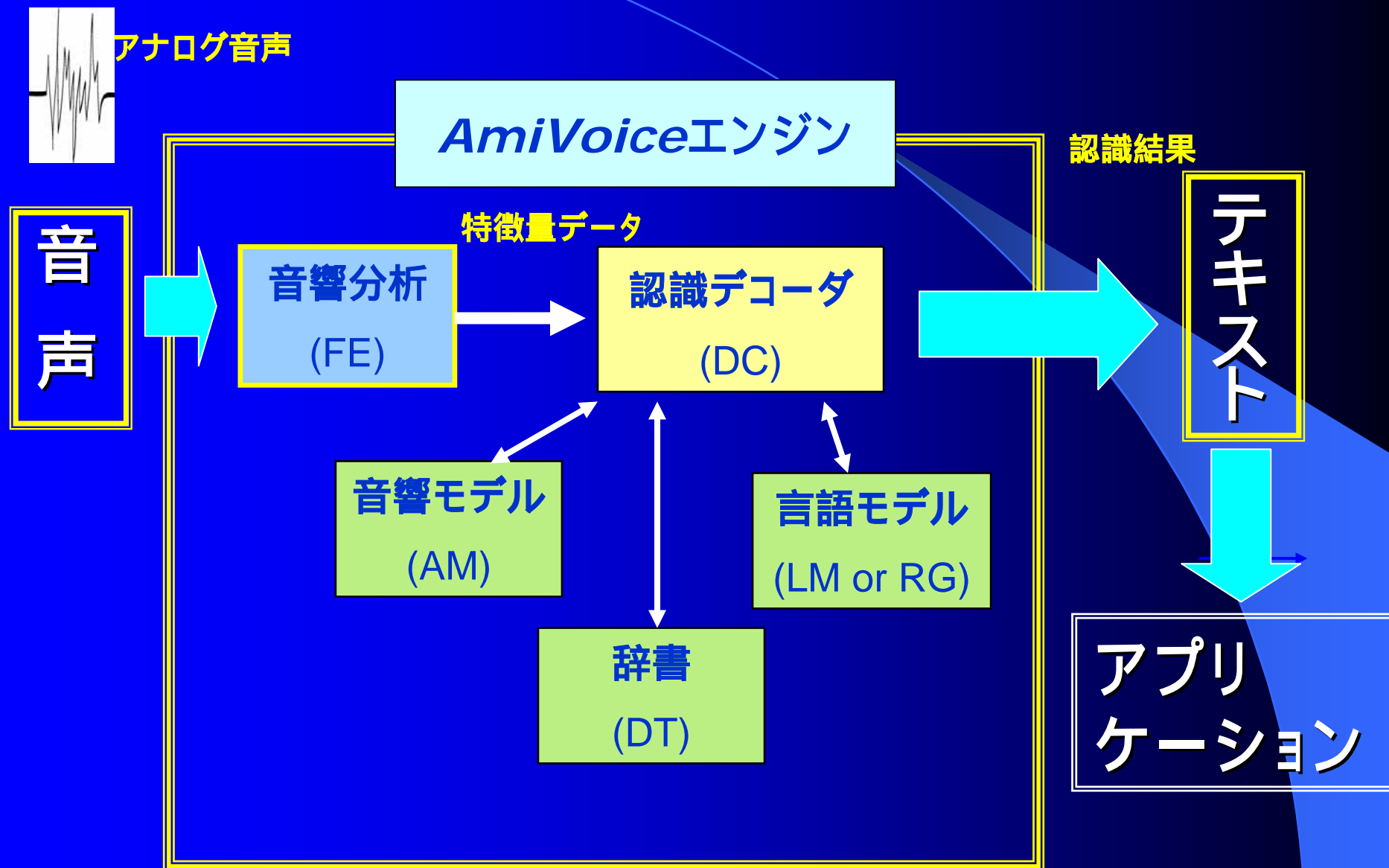
# ビジネスモデル



# 差別化のポイント



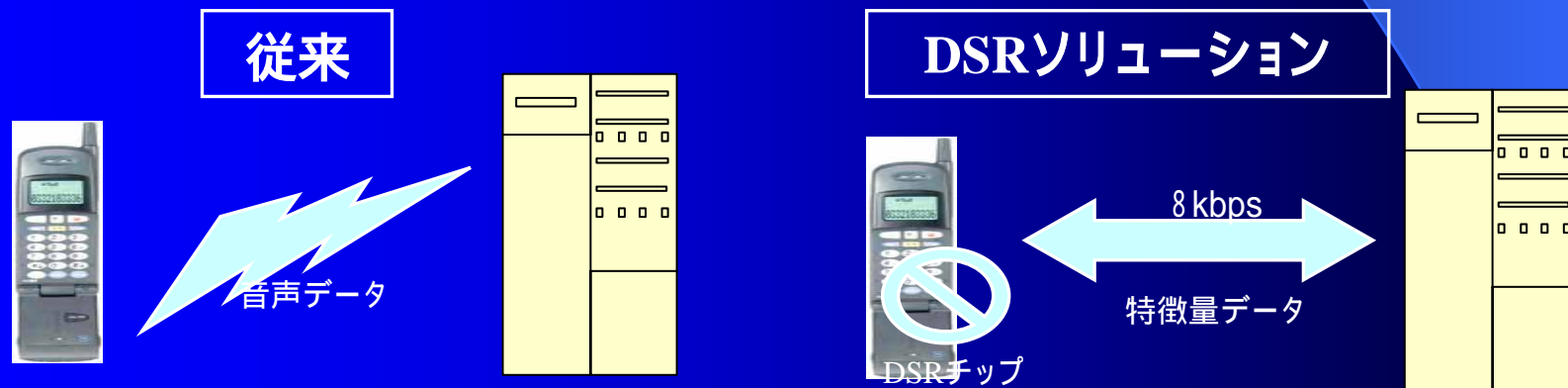
# AmiVoiceエンジン構造



# AmiVoiceDSRとは

## ・DSRによる音声データのハイクオリティー化

DSR (Distributed Speech Recognition)ソリューションとは、デバイスとサーバーに分割した音声認識システムである。デバイス側で入力された音声は、その場で「特徴量データ」に変換され、それがパケット送信される際に、従来のような圧縮による劣化がなく、ノイズが混入する余地もない。さらに、従来よりも1/30以下に圧縮された軽いデータとして送信される。



電話機から音声データが送信される際、圧縮により音声データが劣化、サーバーにおける音声認識が難しくなり、精度が悪化する。

デバイス側で音声データの劣化なしで音声認識の前処理が完了するため、高精度の音声認識が実現できる、しかも、伝送量は小さい。



# 音声認識技術の変遷

# 音声認識技術のロードマップ

1G: 単語認識 (1960 ~)

2G: LVCSR (1991 ~)

3G: Robust (2001 ~)

4G: Multi-Modality (2007 ~)

5G: Understanding (2011 ~)

## 世代(G)のポイント

- 3G: 不特定話者性、スピードの変化、抑揚、アクセントの違いに対応
- 4G: 2-3m離れても認識可能
- 5G: 自然対話、知的推論機能

実用化の始まり

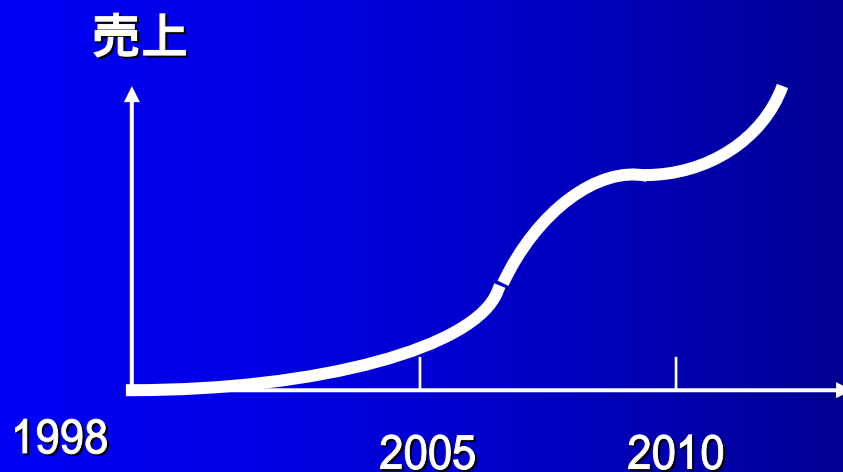
普及

アタリマエの世界

## 長期展望

- 事業の内容は 量→質→量→…………と変遷

Phase I (1998 ~)	認識エンジン販売 (量)
Phase II (2004 ~)	高付加価値ビジネス化 (量→質)
Phase III (2006 ~)	サービスビジネス (質)
Phase IV	プラットフォーム化/グローバル化 (質→量)
Phase V	(Chip)ライセンスビジネス World-Wide (量)



ありがとうございました